

2020 年秋期 奈良学園文化講座

第 1 回《残缺の美》 2020 年 9 月 28 日 (月) 14:00~16:00 講師：大原荘司 奈良学園大学名誉教授、志賀直哉旧居館長 志賀直哉旧居の客間にあった菩薩像は、谷崎潤一郎から譲り受け、昭和 9 年から 13 年まで旧居にあった。つまさきが破損し両腕が欠落しており志賀直哉が「奈良」で述べている「名画の残缺が美しいように美しい」の名言を彷彿させる像である。今回、同寸の菩薩像(当日展示予定)を制作してみた経験を通して、残缺の美しさとは何かについて考える。
第 2 回《AI は人間を凌駕するかー人間とはなんだろうー》 2020 年 10 月 26 日 (月) 14:00~16:00 講師：吉村文男 奈良学園大学名誉教授、京都教育大学名誉教授 AI と人間を並べるときすでに人間はこういうものという暗黙の前提をおいています。この前提を問い返して人間とは何かを改めて考え、その中で AI と人間を考察します。
第 3 回《志賀直哉と蝶花楼馬楽》 2020 年 11 月 7 日 (土) 14:00~16:00 講師：恩田雅和 天満天神繁昌亭支配人 「五十年前、私はその頃あつた落語研究会といふのをよく聴きに行つた。円喬、小さん、円右、円蔵、それから馬楽、小せん、小勝等それぞれ個性のはつきりした連中で、聴いてみて、実に面白かつた」。志賀直哉は、昭和 32 年のエッセイで書き残していました。寄席に足繁く通つた志賀は、特に蝶花楼馬楽をひいきにしました。そうした落語好きの一面が志賀文学にどのように影響したのか、馬楽らの高座に思いをはせながら考えてみたいと思います。
第 4 回《奈良の魅力とその発見》 2020 年 11 月 14 日 (土) 14:00~16:00 講師：野口隆 奈良学園大学特別客員教授 奈良県をはじめ、各地で、地域の資源をうまく活用した地域づくりがすすめられています。その中から、私がよく知っている高取町や旧室生村の深野地区など地域の人々が主体となり、地域の置かれた諸条件を踏まえて、あまり行政に頼ることなく、お金をかけることなく、地域の人々のやる気と元気、創意と工夫による手作りの地域づくり、観光地づくりを進めている事例を紹介しします。事例を紹介する中で、地域資源とは何か、その活用のため留意点、成功のためのポイント等について、皆さんと考えていきたいと思っています。
第 5 回《キリスト教的価値観ーヤコブの末裔》 2020 年 12 月 7 日 (月) 14:00~16:00 講師：木村優 奈良学園大学名誉教授、奈良女子大学名誉教授 カインは弟アベルを殺して罰せられた。一方、ヤコブは母と共謀して父イサクを騙し、兄エサウから世継の権利を奪い、祝福された。ヤコブの末裔には、ヨセフ、ダビデ、イエス、マルクス、アインシュタインなどがある。創世記全 50 章中の 25 章以降は全てヤコブ物語。それはなぜか？キリスト教の価値観の原点はどこにあるの？などについて講演予定です。ノーベル賞メダルの凶案の意味(=神即自然)にも言及したく思います。

◆参加費	各回 350 円 入館料込 (奈良学園教職員、在籍者は無料です)
◆定員	各回 15 名(事前申込先着順) ※新型コロナウイルス感染症防止のため、定員削減 ※定員になり次第、申込を締め切ります。
◆会場	志賀直哉旧居(奈良学園セミナーハウス) 奈良市高畑町 1237-2
◆申込	志賀直哉旧居(0742-26-6490、 seminar@naragakuen.jp)にお申し込みください。
◆主催	学校法人奈良学園 志賀直哉旧居(奈良学園セミナーハウス)



志賀直哉旧居 HP